

# 「カラフルタウン」横瀬町における賑わいづくり中心地づくりプロジェクト

概要	町内遊休資産など町主要部の施設を活用し中心地を活性化させることで、観光などで訪れる交流人口や地域や地域の人々と多様に関わる地域外の関係人口の増加、町の賑わい創出を図り、「カラフルタウン(多様な人が多様なしあわせ・ライフスタイルを実現できる町)」の実現を目指す。
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少による地域の賑わい、活力低下への懸念</li> <li>・町主要部における中心地づくり</li> <li>・これまで町が官民連携等を通じて培った町民・地域住民と町内外様々な人との交流を一層推進・定着させるためのリアルな場の不足</li> </ul>

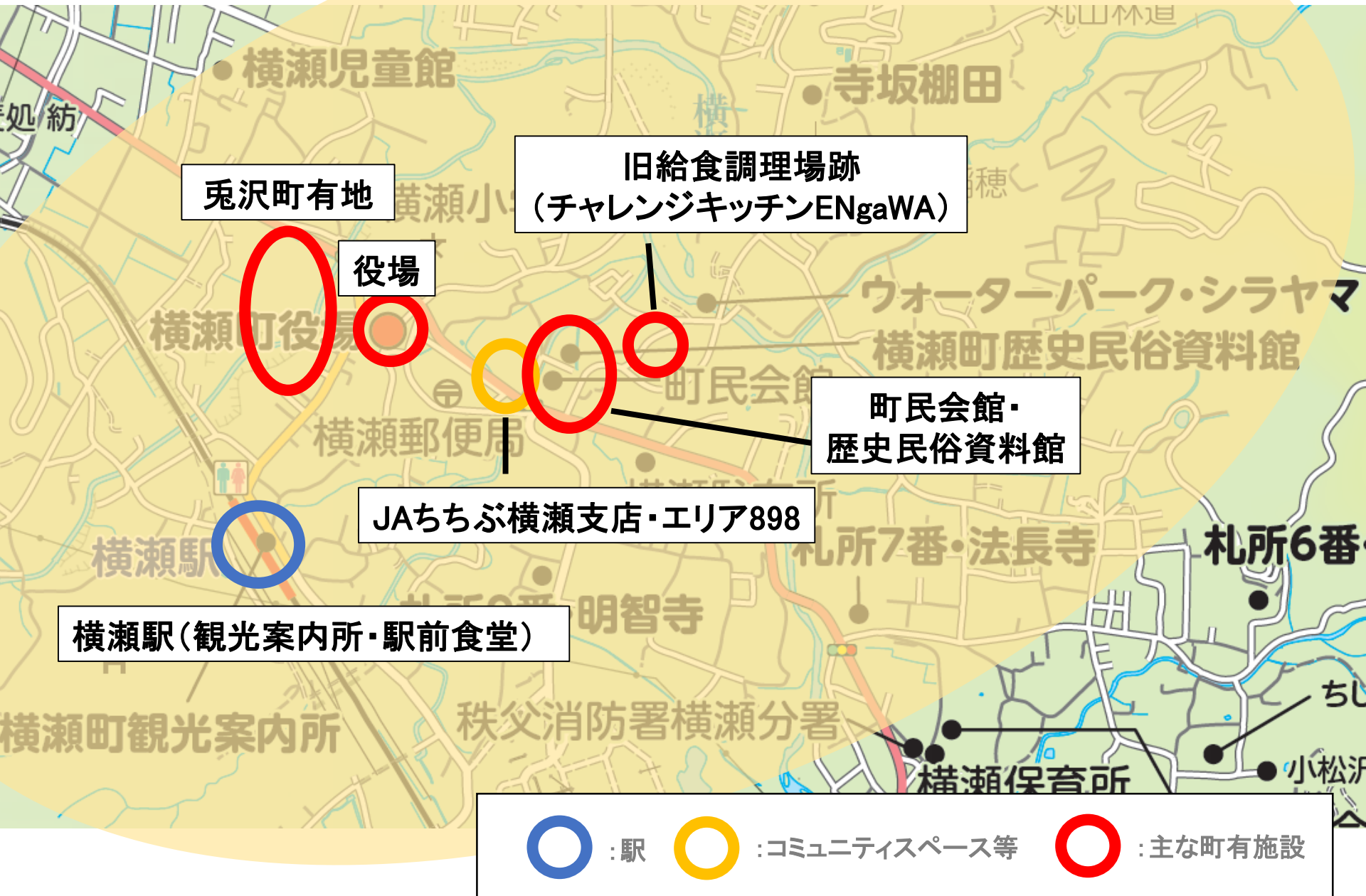
	コンセプト(目的)	目標時期	検討したい取組(施策)	民間企業等の協力を得たい分野・内容
コンパクト	町内遊休資産や観光拠点・資源等を活用した賑わい・中心地づくり	中期 (5年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エリア898※を中心とした地域内外様々な人々の交流活動を更に充実させるため、町主要部に位置する町有資産、町内の遊休資産、駅やコミュニティスペース、空き家、観光拠点・資源等を有効活用し、町内外の企業や住民等の交流・活動拠点を整備。</li> <li>※誰でも自由に様々な用途で利用できるコミュニティ・イベントスペース。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シェアリング(町有資産や公共施設の遊休スペースをシェアする事業)</li> <li>・ZEBなどカーボンニュートラルを意識した施設整備</li> <li>・公共施設集約化</li> </ul>
スマート	官民連携・DXを通じたスマートな賑わい・中心地づくり	中期 (5年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の活動拠点でのオフラインでの交流促進・官民連携等を通じた新たなコミュニティ形成に加え、「人に優しいテクノロジー」を積極的に活用し、オンラインでも交流・まちづくりに参加できる環境を構築する(利用者の環境に依存せず、簡単にアクセスが可能なクラウドサービス等を活用する)。</li> <li>・中心地から町内へのウォーキングコース整備とデジタル技術を活用した健康増進(日本一歩きたくなる町推進)</li> <li>・EVやスマートモビリティなどを活用し、町内外の人々の誰もが利用できる地域交通を確保。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5G</li> <li>・パブリッククラウド</li> <li>・ウェアラブル端末(上記3技術を組み合わせたオンライン交流環境構築)</li> <li>・EdTech</li> <li>・自動運転</li> <li>・スマートモビリティ</li> <li>・シェアサイクル</li> </ul>
レジリエント	安全安心な賑わい・中心地づくり	中期 (5年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全安心に交流・活動拠点が利用できるよう、それらの拠点などで再エネ、EV車や蓄電池を活用し、ゼロカーボン実現と災害時の電源確保等、防災への備えを図りながら、賑わい・中心地づくりを進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蓄電池</li> <li>・EVシェア</li> <li>・小水力発電</li> </ul>

## 横瀬町取組イメージ図



## 横瀬駅周辺の拡大図面

# コンパクトな町の中心地づくり



○ (Blue) : 駅   
 ○ (Yellow) : コミュニティスペース等   
 ○ (Red) : 主な町有施設